PLAYER

Vol.16
The 38th
Business Report
the Second Quarter

第38期 第2四半期株主通信

2010年4月1日から2010年9月30日まで

株主の皆さまへ …… ❶

Fade in ダイコク電機最前線 …… ❸
- 「DK-SIS白書2009」発刊
- 名証IRエキスポ2010
  野村IR主催IRセミナー/株式投資サマーセミナー

ホールサポートサービス …… ❹

セグメント別の状況 …… ❺

連結財務諸表 …… ❼

会社概要 …… ❾

株式情報 …… ❿

DAIKOKU DENKI

証券コード　6430

株主の皆さまへ

当第２四半期の経営成績●●●○

代表取締役社長
栢森 雅勝

当第２四半期連結累計期間におけるわが国経済は、企業収益は改善しつつありますが、雇用環境の改善は遅れ、物価は緩やかなデフレ状況にあるなど、依然として厳しい状況が続いております。

当社グループが携わるパチンコ業界におきましては、個人消費の冷え込みの影響を受け、顧客であるパチンコホールの収益は依然厳しい状況が続いております。このようななか、パチスロ遊技機の業績は前年同期を上回り、安定した業績がホール経営企業から注目され、パチンコからパチスロへシフトする動きが出始めました。一方、１円パチンコ等の低貸玉営業は全国的に浸透し、さらに差別化をはかる動きが見られました。

このような市場環境のなか、情報システム事業におきましては、パチスロ活性化に対して「BiGMO」や低貸玉営業における差別化の動きに対して「楽pass」などの店舗における活用提案を推進いたしました。

制御システム事業におきましては、物作りの改革を目指して開発業務の品質向上と効率を追求し、遊技機のソフト、ハードの企画提案に努めました。

この結果、当第２四半期連結累計期間の業績は、売上高165億10百万円（前年同期比44.0%減）、営業利益６億12百万円（同84.6%減）、経常利益６億82百万円（同83.6%減）、四半期純利益２億41百万円（同89.4%減）となりました。

財政状態●●●○

当第２四半期連結会計期間末における総資産は、納税、配当の支払い等があったことにより、前連結会計年度末に比べ45億92百万円減少の450億49百万円となりました。

流動資産では、主に現金及び預金や売上債権が減少したことにより、前連結会計年度末に比べ54億94百万円減少の290億88百万円となりました。

固定資産では、主に設備投資により前連結会計年度末に比べ９億２百万円増加の159億60百万円となりました。

負債では、主に仕入債務や未払法人税等の減少により、前連結会計年度末に比べ39億39百万円減少の183億21百万円となりました。

純資産では、主に利益剰余金の減少により、前連結会計年度末に比べ６億52百万円減少の267億27百万円となりました。自己資本比率は前連結会計年度末に比べ4.1ポイント上昇の59.2%となりました。

通期の見通し●●●○

平成23年３月期の通期の業績予想につきましては以下のとおりです。平成22年５月10日発表の業績予想に変更はありません。

（単位:百万円）

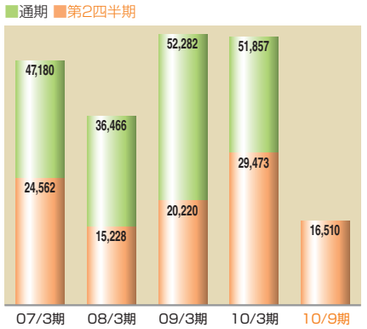
	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	１株当たり当期純利益
前期(2010年3月期)	51,857	4,626	4,903	2,347	158.76円
当期(2011年3月期)	46,000	2,900	3,000	1,200	81.17円
増減率(%)	△11.3	△37.3	△38.8	△48.9	―

■通期の見通しに関する注意事項

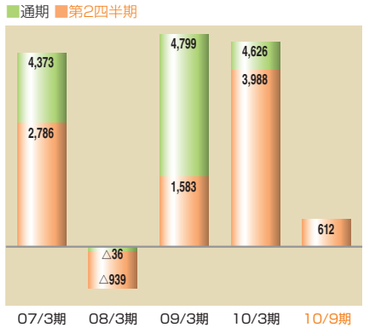
本冊子に記載されている市場予測や業績見通しは、当社の経営陣が現在有効な情報に基づき判断したもので、その実現には潜在的リスクや不確実性を含んでおり、さらに業績に影響を与える要因はこれに限定されるものではありません。したがいまして、諸要因の変化により実際の業績は記載事項と大きく異なる結果となる可能性があることをあらかじめご承知おきください。

主要財務データ（単位：百万円） Key Financial Data

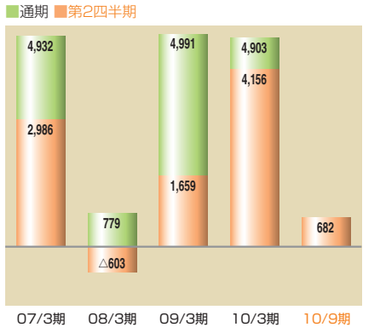
売上高



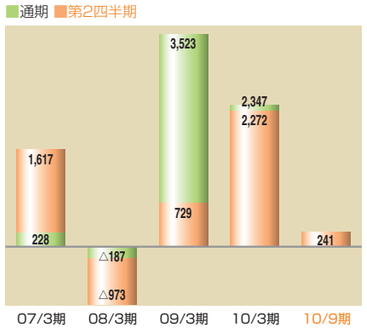
営業利益又は損失（△）



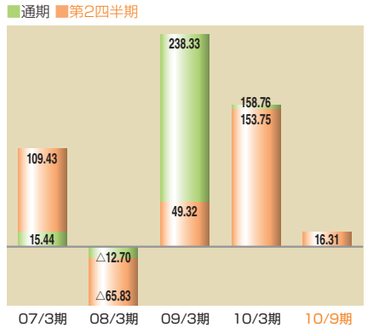
経常利益又は損失（△）



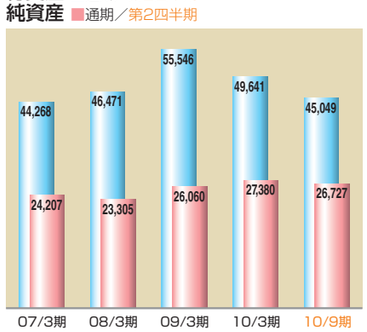
第2四半期（当期）純利益又は純損失（△）



1株当たり第2四半期（当期）純利益又は純損失（△）



総資産 通期／第2四半期
純資産 通期／第2四半期



Fade in●ダイコク電機最前線

「DK-SIS白書2009」発刊

このたび当社は「ＤＫ－ＳＩＳ白書2009」を発刊いたしました。本書は創刊の「ＤＫ－ＳＩＳ白書2003」から数えて７刊目となり、3,122店のＤＫ－ＳＩＳ加入パチンコホールからいただいた97万台分の遊技データを日々集計・分析し、2009年１月から１２月まで１年分の膨大な情報をまとめたものになります。

本書では、2008年の金融不況を発端とした景気停滞の中で、上半期は好調な業績でありながら、下半期は一転不調に陥ったホール経営の本質について解説し、2010年に向けての課題を提示させていただきました。

また今回より、ホール収益の実態を示す「遊技機利益（ホール粗利から遊技機購入費を除いた数値）」を掲載しており、低貸玉営業が台頭する中で、ホールの収益構造がどのように変化したかを示すことで今後の営業のあり方を示唆する内容となっております。

パチンコホール経営企業の皆さまが、これからも市場の実態に最も近いＤＫ－ＳＩＳデータを引き続きご活用いただき、経営するホールデータを検証し、経営の一助としていただくことを願っております。

本書のご購入を希望される方は、当社DK-SISグループにご連絡くださいますようお願いいたします。
定価●20,000円（税込）　電話（0568）88-8301

名証IRエキスポ2010・野村IR主催IRセミナー/株式投資サマーセミナー

●名証IRエキスポ2010

2010年7月16日（金）・17日（土）の両日、名古屋市中小企業振興会館（吹上ホール）にて行われた名古屋証券取引所主催の「名証IRエキスポ2010」にブース出展いたしました。当社として今回で7回目の出展となるこのイベントは今年も盛況で、2日間で6,500名もの来場者がありました。

当社ブースでは対面形式と説明会形式を交互に行い、今年も約300名の皆さまに当社の概要や経営成績などの説明を聞いていただき、コミュニケーションの場として大変有意義な出展となりました。貴重なご意見、ご協力ありがとうございました。

●「キラッとTOKAI」合同個人投資家セミナー/株式投資サマーセミナー2010

2010年9月16日（木）に野村證券名古屋支店で行われた野村IR主催の「キラッとTOKAI」合同個人投資家セミナーに参加し、200名を超える個人投資家の方々にご来場いただきました。また9月25日（土）に名古屋市の中電ホールで行われた名古屋証券取引所主催の株式投資サマーセミナー2010に参加し、こちらも約300名の個人投資家の皆さまにご来場いただきました。

社長の栢森雅勝から当社の事業内容やパチンコ業界の現状、当社の四半期決算の状況などをご説明させていただきました。ご来場いただきました株主や投資家の皆さま、誠にありがとうございました。

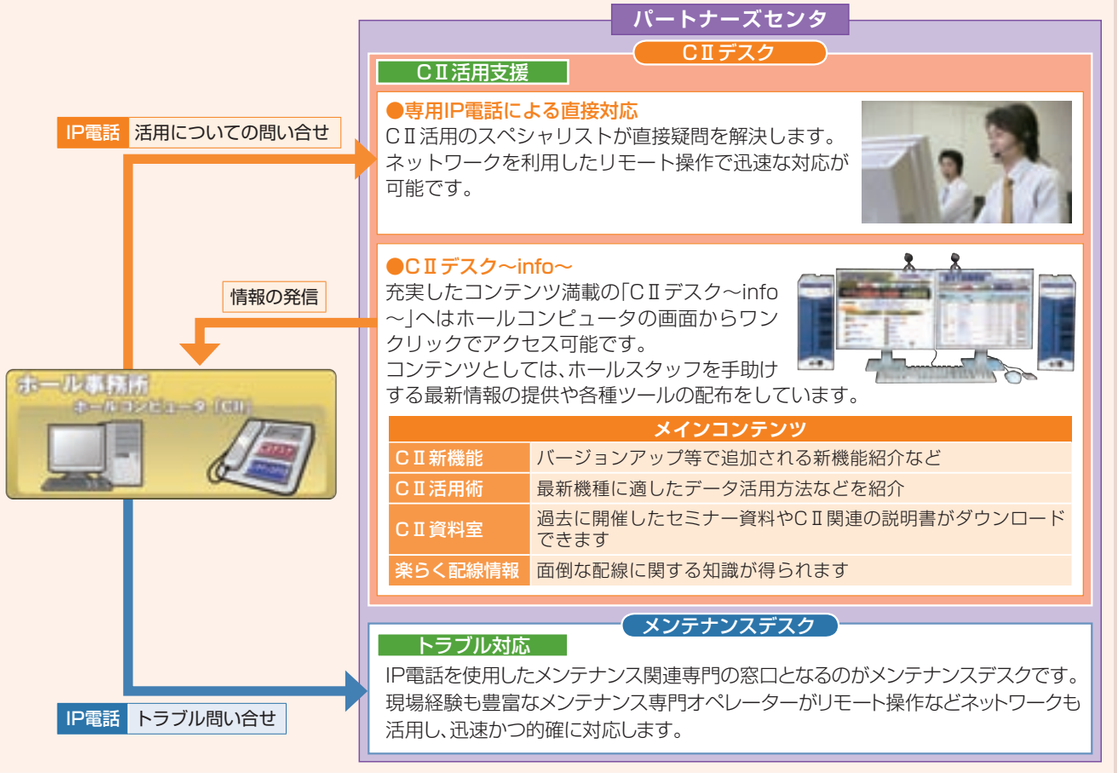
今後も積極的かつ継続的なIR活動により、当社の知名度・認知度の向上に努力してまいりますので、引き続きご支援のほどよろしくお願いいたします。

MIRAIGATE OPEN THE GATE OF YOUR FUTURE ●ホールサポートサービス

パチンコホールの運営は、市場の変化や様々な機種の登場により多様化の一途をたどっています。また、ホールコンピュータも複雑化し、自力では解決できない問題が発生したり、最新の機種に合わせたデータの活用やセキュリティ対策がなされず、本来の機能を活かしきれていないケースがほとんどです。

このような環境のなか、当社は「MIRAIGATEネットワーク」を駆使し、「常に現場第一主義」をキーワードにシステム・サービス・スタッフの力を結集した当社ならではの強力なサポート体制でホールをサポートする「ＣⅡデスク」「メンテナンスデスク」を2009年7月に開設いたしました。

おかげさまで開設直後から会員は順調に増加し、2010年9月末現在では1,201会員となっております。



情報システム事業

売上比率 68.9%

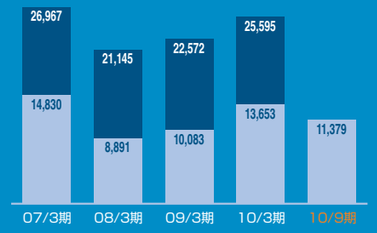
当事業の第２四半期連結累計期間は、ＭＩＲＡＩＧＡＴＥネットワークを活用したホール経営を支援する窓口となる「ＣⅡデスク」や迅速かつ的確なメンテナンスに対応するための「メンテナンスデスク」の価値を高め、ホールコンピューティングシステム「ＣⅡ」の導入を提案いたしました。

また、パチスロ活性化に対して、遊技機の楽しみを広げるコンテンツ表示や音声演出を加えた台毎データ表示機「ＢｉＧＭＯ」や低貸玉営業における差別化の動きに対して、ファンの利便性向上を追及したファン向け台毎端末「楽ｐａｓｓⅡ」などの店舗における活用提案を推進し、ＭＩＲＡＩＧＡＴＥネットワークの普及を進めました。しかし、新規出店等の大型の設備投資は引き続き低調でした。

この結果、売上高は113億79百万円（前年同期比16.7%減）、営業利益は19億54百万円（同30.6%減）となりました。

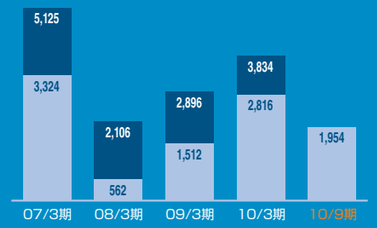
■ 情報システム事業売上高

■通期 ■第2四半期



■ 情報システム事業営業利益

■通期 ■第2四半期



台毎データ表示機『BiGMO』

今までの呼出ランプの概念を変える台毎データ表示機『BiGMO』。

業界最大10.4インチ液晶で、ホール内のイメージを大きく変えるだけでなく、状況に応じてファンが見たいデータを、「どデカ表現」でわかりやすく伝え、遊技しているファンの、ドキドキ感、ワクワク感を盛りたてます。

さらには、業界初AC（遊びコミュニケーション）機能を搭載し、「データニュース」や「パチンコ講座」など多彩な情報をファンに直接語りかけます。

ファン向け台毎端末『楽passⅡ』

ファン向け台毎端末『楽passⅡ』は、わかりやすさと、ファンが安心して遊技できることに徹底的にこだわりました。

1. リアルタイムに正確な持ち玉数を表示することで、ファンは臨場感を楽しむことができます。
2. 操作も非常にシンプル。誰でも簡単に遊技を楽しむことができます。
3. 持ち込み玉等の不正もリアルタイムに検知します。

制御システム事業

売上比率 26.2%

当事業の第２四半期連結累計期間は、遊技機のソフト、ハードの企画提案に努めましたが、第２四半期に販売を予定しておりました機種が、第３四半期以降の販売となったため、販売台数が大幅に減少いたしました。

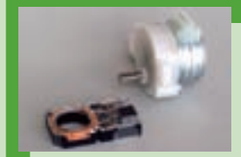
この結果、売上高は43億18百万円（前年同期比71.6%減）、営業損失は４億88百万円（同27億74百万円減）となりました。

表示ユニット

パチンコ遊技機のゲーム内容を表現する部分で、ハードウエアとそれに搭載されるプログラムから構成されます。

制御ユニット

基本動作をつかさどるハードウエアとそれに搭載されるプログラムから構成され、パチンコ遊技機の心臓部といえます。

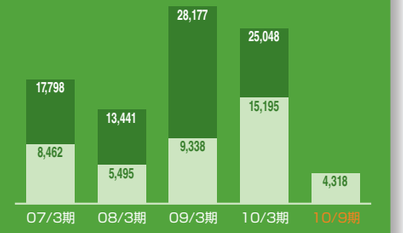


商品（部品）

パチンコ遊技機に使用される液晶パネル、スイッチ、モーター等のオートメーションパーツの仕入販売をしております。

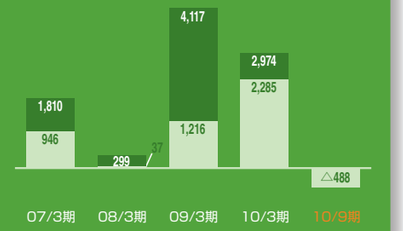
■ 制御システム事業売上高

■通期 ■第2四半期



■ 制御システム事業営業利益

■通期 ■第2四半期



アミューズメントコンテンツ事業

売上比率 4.9%

当事業の第２四半期連結累計期間は、コンシューマゲームにおいて、昨年、海外メーカーから受注したゲームソフトが高い評価を受けたことにより、開発受注が増えました。携帯コンテンツは、mixi向けに続き、Yahoo!モバゲーへも提供を始めました。

この結果、当事業の売上高は８億15百万円（前年同期比28.8%増）、営業利益は41百万円（同１億18百万円増）となりました。

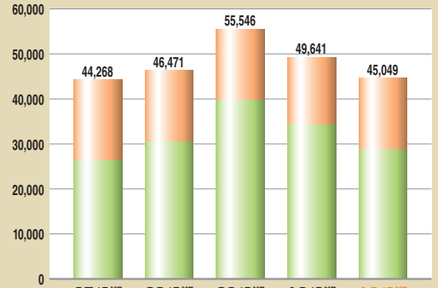
連結財務諸表

第２四半期連結貸借対照表(要旨)

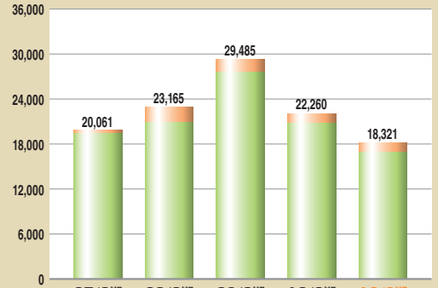
科　目	当第2四半期連結会計期間末 2010年9月30日現在	前第２四半期連結会計期間末 2009年9月30日現在	前期 2010年3月31日現在
資産の部			
流動資産	29,088	37,407	34,582
固定資産	15,960	15,408	15,058
有形固定資産	9,128	6,769	8,600
無形固定資産	1,627	1,221	1,487
投資その他の資産	5,205	7,417	4,970
資産合計	45,049	52,816	49,641
負債の部			
流動負債	17,056	23,871	20,915
固定負債	1,264	1,496	1,345
負債合計	18,321	25,367	22,260
純資産の部			
株主資本	26,680	27,400	27,326
資本金	674	674	674
資本剰余金	680	680	680
利益剰余金	25,327	26,046	25,973
自己株式	△0	△0	△0
評価・換算差額等	4	6	4
少数株主持分	43	41	49
純資産合計	26,727	27,448	27,380
負債純資産合計	45,049	52,816	49,641

(単位:百万円、百万円未満は切捨て)

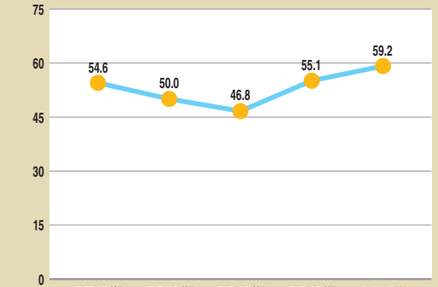
流動資産/固定資産(単位：百万円) ■流動資産 ■固定資産



流動負債/固定負債(単位：百万円) ■流動負債 ■固定負債



自己資本比率(単位：%)



第２四半期連結損益計算書(要旨)

科　目	当第2四半期連結累計期間 2010年4月 1日から 2010年9月30日まで	前第２四半期連結累計期間 2009年4月 1日から 2009年9月30日まで	前期 2009年4月 1日から 2010年3月31日まで
売上高	16,510	29,473	51,857
売上原価	10,698	20,077	35,705
売上総利益	5,812	9,395	16,152
延払販売未実現利益戻入	7	7	15
差引売上総利益	5,819	9,403	16,167
販売費及び一般管理費	5,207	5,414	11,541
営業利益	612	3,988	4,626
営業外収益	121	241	402
営業外費用	51	73	124
経常利益	682	4,156	4,903
特別利益	6	4	16
特別損失	52	41	147
税金等調整前四半期(当期)純利益	635	4,118	4,772
法人税、住民税及び事業税	593	1,816	2,431
法人税等調整額	△192	30	△12
少数株主損益調整前四半期純利益	234	—	—
少数株主利益又は少数株主損失(△)	△6	△0	7
四半期(当期)純利益	241	2,272	2,347

(単位:百万円、百万円未満は切捨て)

売上総利益

前年同期に比べ、情報システム事業、制御システム事業が低調に推移したことにより、売上高は44.0%減となりましたが、原価率が下がったことにより売上高総利益率は3.3ポイント上昇の35.2%となりました。

営業利益

販売費及び一般管理費は前年同期に比べほぼ同額にて推移しましたが、売上高が低調だったことにより、売上高営業利益率は9.8ポイント下降の3.7%となりました。

第２四半期連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

科　目	当第2四半期連結累計期間 2010年4月 1日から 2010年9月30日まで	前第２四半期連結累計期間 2009年4月 1日から 2009年9月30日まで	前期 2009年4月 1日から 2010年3月31日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	△1,206	4,442	6,079
投資活動によるキャッシュ・フロー	681	△605	△3,416
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,186	△1,405	△1,895
現金及び現金同等物に係る換算差額	△3	△0	0
現金及び現金同等物の増加額(△減少額)	△1,714	2,431	768
現金及び現金同等物の期首残高	16,426	15,658	15,658
現金及び現金同等物の四半期末(期末)残高	14,712	18,090	16,426

(単位:百万円、百万円未満は切捨て)

営業活動によるキャッシュ・フロー

前年同期に比べ、税金等調整前四半期純利益が減少したこと、法人税等の支払額が多かったことにより使用した資金は増加しました。

投資活動によるキャッシュ・フロー

前年同期に比べ、固定資産の取得による支出は増加しましたが、定期預金の払戻による収入があったことにより得られた資金は増加となりました。

財務活動によるキャッシュ・フロー

前年同期に比べ、借入金の返済による支出が少なかったことにより、使用した資金は減少しました。

Corporate Profile

会社概要 (2010年9月30日現在)

商　号	ダイコク電機株式会社 DAIKOKU DENKI CO., LTD.
創　業	1964年12月
設　立	1973年 7月
資本金	6億7千4百万円 (発行済株式総数14,783,900株)
本　社	名古屋市中村区那古野一丁目47番1号 名古屋国際センタービル2階
従業員数	(単独)435名　(連結)674名
事業内容	パチンコホール向けコンピュータシステムの開発・製造・販売 パチンコ遊技機用ユニット・パチスロ遊技機の開発・製造・販売

役　員

代表取締役社長	柏森雅勝	取締役	國保徳丸
代表取締役副社長	柏森秀行	取締役	足立芳寛
代表取締役専務	柏森　健	常勤監査役	伊東幹夫
常務取締役	岩根節雄	監査役	田中正雄
取締役	橋本忠巳	監査役	敷田　稔
取締役	丹羽時重	監査役	村橋泰志
取締役	根本　弘	監査役	田島和憲

(注) 1. 取締役 國保徳丸氏、足立芳寛氏は社外取締役であります。
2. 監査役 田中正雄氏、敷田稔氏、村橋泰志氏、田島和憲氏は社外監査役であります。

事業所一覧

本社	〒450-8640	名古屋市中村区那古野一丁目47番1号 名古屋国際センタービル TEL(052)581-7111(代表)
本部事業所	〒480-0395	春日井市坂下町1丁目875 TEL(0568)88-7111
高蔵寺事業所	〒487-0013	春日井市高蔵寺町2丁目153番地 TEL(0568)51-7111
春日井事業所	〒480-0304	春日井市神屋町1番26 TEL(0568)88-7771
TOKYOデザインスタジオ	〒164-0012	東京都中野区本町一丁目32番2号 ハーモニータワー

拠点一覧

東日本支店	〒110-0005	東京都台東区上野七丁目2番10号 上野駅前第一生命ビル
・茨城営業所	〒305-0032	つくば市竹園二丁目2番地4　第2・ISSEIビル
・北関東営業所	〒330-6022	さいたま市中央区新都心11番地2 明治安田生命さいたま新都心L.A.タワー
・新潟営業所	〒950-0925	新潟市中央区弁天橋通1丁目2番39号 VMビルディング
・札幌営業所	〒001-0011	札幌市北区北十一条西四丁目1番地44 ベルエアプラザ
・盛岡営業所	〒020-0045	盛岡市盛岡駅西通二丁目9番1号　マリオス
・仙台営業所	〒980-0014	仙台市青葉区本町二丁目2番3号　鹿島広業ビル
中部支店	〒480-0304	春日井市神屋町1番26
・金沢営業所	〒920-0025	金沢市駅西本町一丁目5番12号
・松本営業所	〒390-0852	松本市大字島立399番地1　滴水ビル
西日本支店	〒532-0003	大阪市淀川区宮原四丁目1番14号 住友生命新大阪北ビル
・岡山営業所	〒700-0927	岡山市北区西古松一丁目1番26号　オム第Ⅱビル
・高松営業所	〒761-8071	高松市伏石町2130番地1　丸忠Ⅲビル
・広島営業所	〒730-0004	広島市中区東白島町14番15号　NTTクレド白島ビル
九州支店	〒812-0016	福岡市博多区博多駅南二丁目1番9号 ヤマエ博多駅南ビル
・宮崎営業所	〒880-0801	宮崎市老松一丁目3番3号　松屋ビル

関係会社

連結子会社●DIXEO株式会社、元気株式会社、元気モバイル株式会社、DAXEL株式会社、DO株式会社
関 連 会 社●株式会社ラピス

本社

本部事業所

Stock Information

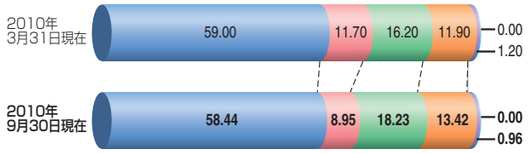
株式情報 (2010年9月30日現在)

株式状況

発行可能株式総数……66,747,000株
発行済株式総数……14,783,900株
株主数……3,960名

所有者別株式分布状況

	2010年9月30日現在		2010年3月31日現在	
●個人・その他	8,639,784株	3,750名	8,723,539株	3,572名
●金融機関	1,322,100株	26名	1,727,100株	28名
●その他国内法人	2,695,300株	62名	2,392,100株	61名
●外国人	1,984,171株	92名	1,760,605株	99名
●証券会社	142,276株	29名	180,360株	32名
●自己名義株式	269株	1名	196株	1名
合計	14,783,900株	3,960名	14,783,900株	3,793名



(単位：%)

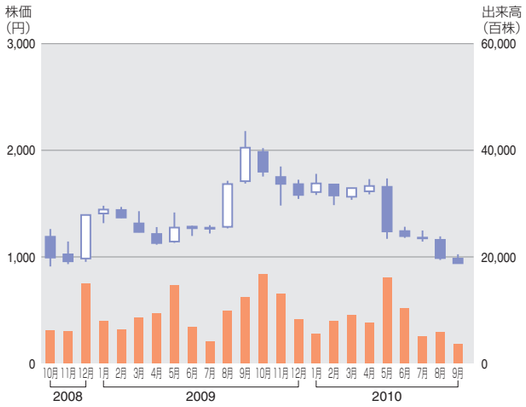
持株数別株式分布状況

	2010年9月30日現在		2010年3月31日現在	
1単元未満	897株	116名	582株	73名
1単元以上5単元未満	409,313株	2,428名	398,126株	2,383名
5単元以上10単元未満	285,410株	482名	260,462株	444名
10単元以上50単元未満	1,252,275株	741名	1,186,563株	708名
50単元以上100単元未満	485,883株	74名	412,670株	64名
100単元以上500単元未満	1,809,000株	90名	1,909,551株	93名
500単元以上1,000単元未満	566,703株	9名	716,600株	11名
1,000単元以上5,000単元未満	3,049,950株	11名	2,006,250株	7名
5,000単元以上	6,924,200株	8名	7,892,900株	9名
自己名義株式	269株	1名	196株	1名
合計	14,783,900株	3,960名	14,783,900株	3,793名

大株主

株主名	持株数(株)	出資比率(%)
柏森　健	1,772,200	11.98
柏森　雅勝	1,584,950	10.72
柏森　寿恵	1,108,950	7.50
公益財団法人柏森情報科学振興財団	750,000	5.07
柏森　秀行	739,100	4.99
柏森　新治	737,150	4.98
柏森　美智子	626,000	4.23
柏森　啓	420,000	2.84
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	371,500	2.51
メロン　バンク　トリーティー　クライアンツ　オムニバス	347,500	2.35
ダイコク電機従業員持株会	322,500	2.18
柏森　和代	311,000	2.10
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	254,200	1.71
ステート　ストリート　バンク　アンド　トラストカンパニー	237,300	1.60
ノーザン　トラスト　カンパニー　エイブイエフシー　リ　フィデリティ　ファンズ	150,800	1.02
株式会社みずほ銀行	150,000	1.01
メロン　バンク　エスエー　アズ　エージェント　フォー　イッツ　クライアント　メロン　オムニバス　ユーエス　ペンション	126,300	0.85
ステート　ストリート　バンク　アンド　トラスト　カンパニー　505224	91,200	0.61
大和証券キャピタル・マーケッツ株式会社	71,500	0.48
ステート　ストリート　バンク　アンド　トラスト　カンパニー　505225	66,000	0.44

株価及び出来高の推移



株主メモ

事業年度	4月1日から翌年3月31日
定時株主総会	6月下旬
基準日	定時株主総会　3月31日 期末配当　3月31日 中間配当　9月30日 その他必要があるときは、あらかじめ公告いたします。
株主名簿管理人	東京都港区芝三丁目33番1号 中央三井信託銀行株式会社
同事務取扱場所	〒460-8685 名古屋市中区栄三丁目15番33号 中央三井信託銀行株式会社 名古屋支店証券代行部
郵便物送付先 電話照会先	〒168-0063 東京都杉並区和泉二丁目8番4号 中央三井信託銀行株式会社　証券代行部 TEL.0120-78-2031（フリーダイヤル） 取次事務は中央三井信託銀行株式会社の本店及び全国各支店ならびに日本証券代行株式会社の本店及び全国各支店で行っております。
公告方法	電子公告によります。ただし、やむを得ない事由によって電子公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。
公告のホームページアドレス	http://www.daikoku.co.jp/

IR情報メール配信サービス

当社は、投資家の皆さまに対して電子メールによるIR情報配信サービスを提供しております。ご登録いただいた方々に当社ホームページ（http://www.daikoku.co.jp）に新しい情報が掲載されたことをお知らせします。
ご希望の株主さまは、当社ホームページにアクセスした後、「IRメール配信ご登録」ボタン、又はディア・ネットサービスホームページ（http://www.dirnet.jp/6430）から、簡単にご登録（無料）いただけます。

「配当金計算書」について

配当金支払いの際送付しております「配当金計算書」は、租税特別措置法の規定に基づく「支払通知書」を兼ねております。確定申告を行う際は、その添付書類としてご使用いただくことができます。なお、配当金領収証にて配当金をお受取りの株主さまにつきましても、平成22年より配当支払いの都度「配当金計算書」を同封させていただいております。
＊確定申告をなされる株主さまは、大切に保管ください。

株主さまのご住所・お名前に使用する文字に関してのご案内

株券電子化実施にともない、株主さまのご住所・お名前の文字に、株式会社証券保管振替機構（ほふり）が振替制度で指定していない漢字等が含まれている場合は、その全部又は一部をほふりが指定した文字又はカタカナに変換して、株主名簿にご登録いたしております。このため、株主さまにご送付する通知物の宛先が、ほふりが指定した文字に置換えられる場合がありますのでご了承ください。株主さまのご住所・お名前として登録されている文字については、お取引の証券会社等にお問い合わせください。

株券電子化後の配当金受取方法のお取扱い

株券電子化により、従来の配当金振込口座のご指定方法に加えて、あらかじめ登録した一つの預金口座で株主さまの保有しているすべての銘柄の配当金のお受取りや、証券会社の口座でも配当金のお受取りが可能となります。確実に配当金をお受取りいただくためにも、これらの振込みによる配当金のお受取りをお勧めします。詳しくはお取引証券会社等にお問い合わせください。

DK ダイコク電機株式会社

〒450-8640　名古屋市中村区那古野一丁目47番1号　名古屋国際センタービル2階
TEL（052）581-7111（代表）
ホームページ　http://www.daikoku.co.jp

FSC www.fsc.org　ミックス 責任ある木質資源を使用した紙 FSC™ C022915